

なんもく 山村ぐらし通信

今年度第一回目となる群馬県主催の移住相談会が、東京銀座「ぐんま総合情報センター」通称「ぐんまちゃん家」で行われ、南牧村からも協議会メンバー3名と役場担当職員の4名で参加してきました。



子育て世代も相談に訪れ、対応にも力が入ります。

ぐんま暮らし相談会 in 銀座
6月4日(土) 県内の8市町村 前橋市 桐生市 沼田市 下仁田町 長野原町・中之条町・千代田町・南牧村)が参加して、ぐんま暮らし相談会が行われました。相談会初参加のメンバーは立地条件のよいことにちよっとビックリ!その後、会場準備と打合せを行

い当日配布された資料を確認すると、移住相談の予約が数件入っていることにも驚き、来場される方たちの移住への関心の高さがうかがえ気持ちが入ります。11時から始まった相談会、最初の30分は群馬県職員による群馬県全体のPR、その後、自治体ごとのブースに分かれて個別の相談会が開始です。南牧村ブースに

◎生活環境：空き家情報、家屋内の水回りについて 特にトイレ
◎仕事：仕事があるのか心配 特に子育て世代や定年前の方) 求人情報を提案できると話が進めやすくなると感じた。
◎教育環境：子育て世代の家族は、学校や保育園のことが気になる。その中で、通学方法や学童保育なども気になるようでした。
◎野菜づくり：畑を借りたい!農作物を作りたいと

もスタートと同時に移住相談者がやってきました。今回、南牧村ブースにお越し頂いた方は、6組12名でした。1組あたり30〜40分程度の相談時間がかかりますので、イベント開催中、常に相談者がブースにいる感じでした。また、相談者の殆どが南牧村に来たことがある、移住するなら南牧村という具体的な相談でした。相談内容は主に次のような内容となります。

2016(平成28)年8月発行 通巻第18号版(夏季号)
発行責任者及び発行元：南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場 村づくり・雇用推進課 協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)
紙面編集：通信・広報チーム



協議会QRコード
協議会HP
<http://nanmoku.org/>
古民家バンク情報がサイトに移設されました。

の希望を持っている。

このように具体的な話をしている時間があったと言っている間に過ぎ、3人とも時間が足りないと感じました。今回、複数の協議会メンバーが参加したことにより、相談者にいろいろな情報が提供できたり、相談ごとを聞くことができるとても有意義な相談会になったと感じました。地道な活動になりますが、一人でも多くの方が南牧村に興味を示し、南牧村へ行ってみたい、移住してみたいと思えるように今後も活動していきたいと思っていました。南牧村に興味を感じている方、まずは南牧村にお出かけ下さい。

「Aさんは良い人だ。優しくて人格者である。風体だつて悪くない。金持ちではないが貧乏でもない。けれどモテない。いろいろな相談事を持ってくる女子衆も、嫁になるという者は皆無であるので未だ寡やもめ暮らしだ。女子衆の一人曰くとても良い人だわ。でもねえ〜。〜」
南牧村が、かのAさんに見えて仕方ない今日この頃。どちらも魅力に溢れているのに、人の心をつかまえる何かが足りないのかもしれない。協議会の会員となって四年が過ぎました。空き家バンクを中心に活動して、多少は成果が挙がっていると思えますが、まだまだ物足りないのです。これから村を背負っていくべき、現役世代の移住があまりにも少ないと感じています。老後を山村で暮らしたいというシルバー世代も歓迎ですが、保育園、小学校、中学校に子供達を託してくれる子育て世代であるI・Uターン者の受け入れは欠かせないのではないのでしょうか。
隣村に行けばパートの仕事はたくさんあります。ただ、パートの収入では子育て世代には足りません。できれば村内にある程

我・想・明・村

～歯がゆさに、あたり見渡す吞兵衛かな～

度の収入を得られる職場があることが理想です。古民家は素敵です。部屋に寝転んで太い梁を見ていると心が休まる気がします。ただ住めるようにするには、補修が欠かせません。引越の費用に加えて補修費の負担は、子育て世代には重たいのです。村で最低限の補修をし、足りない部分は低利で融資をし、居住年数に応じて金利を徐々に下げるとか、10年住み続けたら譲渡するなどであれば良いと思います。いざれにしてもお金や手間が掛かることです。
移住がうまくいっている自治体には共通点があります。自治体が、住民が、何かを捨てて取組んでいることです。ある漁村では命より重いと云われる漁業権を移住者に無償で譲渡し、生計が立つまで付きつきり指導することです。移住者が劇的に増加しました。都市部において、移住を希望する人は少なくありません。村の営業マンのような役割があってもよいと思います。
南牧村に行けば、こんな施策があるとネットで喧伝されればと願って止みません。協議会も元気を出して地道な活動を頑張ってください。私は何を捨てましょうか。
※冒頭のAさんは架空の人物です。

【28年度4～6月 空家問合件数】

電話による問合せ	4件
(4月)	1件
(5月)	1件
(6月)	2件
メール・手紙・FAXでの問合せ	7件
(4月)	0件
(5月)	3件
(6月)	4件
現地物件見学案内	7件
(4月)	1件
(5月)	4件
(6月)	2件

【協議会ウェブサイトの訪問・閲覧状況報告】
※4/20～7/20(約3ヵ月間)
ページ閲覧数 67,468
サイト訪問数 6,052
サイト訪問者数 3,933
(同一人は1とカウント)
平均ページ閲覧数 11.15ページ

ぐんま暮らし
けぶるような霧雨が降り頻る中、子供たちにとっては待ちに待った夏休みが始まりました。毎日のように外

に飛び出しては飽くことなく遊びまわっていた少年時代。朝はラジオ体操とクワガタ捕り。田んぼでゲンゴロウ、タニシにトンボ捕り。用水路でマツカチン。広場

では日が暮れるまで三角ベースに馬乗り、爆竹にカンシヤク玉そして缶ケリなど。夢中になって遊んだものです。あなたの遊び心、なくしていませんか?

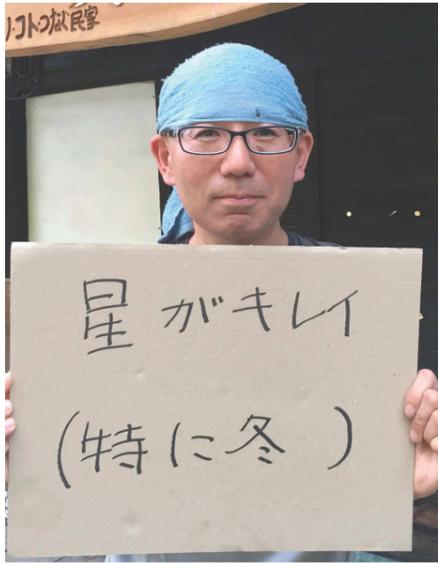
new! 協議会メンバー紹介



＜星野 恵里佳さん＞
私こう見えても手芸が得意なんです。
『ポピンちゃんしゅげー!』と言われます。



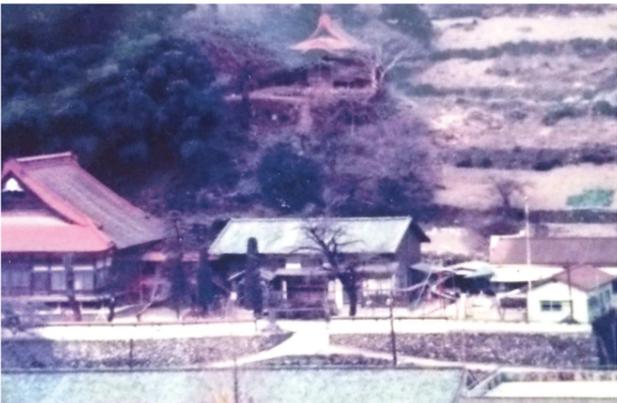
＜植田 初美さん＞
私のメッセージ↑↑ちょっと洒落てみましたけどわかりました?それから「はつみ商店」は駄菓子屋じゃありません!



＜志賀 正さん＞
マフラー音を響かせて走る深緑色のミニクーパー。それが私です!

求人情報公開について

現在、協議会ウェブサイトにおいて、村内及び近隣市町村からの求人情報等を収集し、なんもく村に移住を検討されている方への情報提供として、空き家情報と合わせ求人雇用情報を公開してゆくことを検討しております。
【正規雇用】 【パート雇用】 【期間雇用】
【アルバイト雇用】など、雇用期間・時期は限定しない形で、雇用の予定やご希望がある事業主及び個人の方からの情報提供を呼びかけていく予定でいます。 次号にてご案内)



♪赤いぼうしに青い服 かわいいお手々を取り合って
♪このフレーズどこかで聞いた記憶があるかも!

♪さくら保育園今昔編♪
上写真の建物、これは昔の「さくら保育園」。昔は木造平屋建て。今の園舎は鉄筋コンクリートの3階建

そうそう、私が年長さんのころ、いまの園長先生がさくら保育園にやって来たことをよく覚えてます。あのころは園長先生も若かった!あれから30数年。園長先生も私も歳を重ね、現在に至るのでした。
記事担当

『なんもく』の今昔編

て。平成10年4月に今の園舎となり今年で19年目。新しい園舎でも多くの園児が学び巣立っています。じつは私もさくら保育園でお世話になり、私の子供たちも...



ぶらりなんもく村

外来生物侵入か?

『外来生物侵入?』変わった植物が、うちの近所で評判になっていたので見に行きました。とはいっても車で走っていると目の端にも入る風貌はちょっと異

尋ねたら「ビロードモウズイカ」と教えてもらえました。ヨーロッパで自然分布しているようなので日本産ではありませんでした。でも、びっくりしたのは、ほ

ぼ日本全国に分布して、しかも観賞用、薬用として、明治の初めころに意図的に導入されたものだということ。何かの間違いで入ったのではなくて、わざわざ取り入れた植物でした。でも、どうやってこの南牧の地に生えてきたのでしょうか?風に乗って、あるいは動物にくっついてきたのでしょうか?僕が見たものは石垣から成長してきたようなので、なお考えてしまいます。ちょうど今の時期の8、9月が繁殖期のようなので、気をとめて観察してみようと思います。
モノ知り鎮之寄稿

質に見えて気にはしてました。いざ目の当たりにしてみると、その姿は凄いと云うか、むしろ凶々しさを感じるくらい葉の大きさ、煩いほどの蕾の数。どれをとってもこの辺りに生える草花のそれとは違ってました。詳しい人に石垣から成長してきたようなので、なお考えてしまいます。ちょうど今の時期の8、9月が繁殖期のようなので、気をとめて観察してみようと思います。
モノ知り鎮之寄稿

編集後記

7月も月末を迎えているというのに、この村ではまだまだ毛布がなくては朝晩が寒いと感じます。紙面の編集が一通り片付き、あすの最終紙面チェック会議の前に確認に余念がない今朝も長袖のパーカーを羽織る私。この梅雨が明ければ南牧村にも暑い夏がやってきます。行楽やドライブで賑わう道の駅。そのすぐ下の河原では週末を楽しむ子供

連れ姿を多く見かけるようになりまし。少し整備するだけでこの賑わいから、本腰を入れてこの村の自然資源を整えてあげればひとつの産業として成り立つような気がします。合わせて、綿密な計画を作り5カ年程度の官・民共同運営後には独立で採算を確保できるような新たな産業を興してゆくという発想もこの村には必要なのではと感じています。
高齢化への対策と共に。

【ご協力をお願いします!】

役場 村づくり・雇用推進課 担当・石井
電話 0274-872011 (代表)

そういうことなら相談してみるか!

※荷物はまだいっぱい残っているからなあ...
※心配いりません!内部の片付けや処分等、村と協議会でお手伝いしています。
※かなり傷んでいるから直さなくちゃならないかなあ...
※基本的には現状で紹介し、補修や改修等は借主の負担で行うこととなります。
※賃貸契約とか面倒な手続きはちょっとなあ...
※契約に関する相談や手続きは村役場担当課の職員が丁寧に説明をしてくれます。
という方は是非コチラまでご連絡ください。

現在、移住を希望される方に紹介できる空き家情報が不足しています。